

「福島浜通りトライデック」2021 年度事業報告 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

1 調査研究の実施

〔調査研究の実施項目〕

- ・米国ハンフォード地域の経済発展とその福島浜通り地域への適応に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の復興状況と今後の課題等に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の経済発展に資するニーズ等のマーケット調査
 - ・「創造的文理融合型人材」育成のための教育研究プログラム開発に関する調査研究
 - ・福島浜通り地域の歴史・文化に関する調査研究
 - ・福島浜通り地域の観光の再発見に関する調査研究
 - ・福島浜通り地域の暮らしを再生する地域貢献と社会活動のプロモーションに関する調査研究
 - ・その他福島浜通り地域の新たな視点からの復興創生に資する調査研究

〔調査研究の主な実施状況〕

○ 大西先生

- ・福島浜通り経済復興の達成を米国ハンフォードの成功に学ぶ
福島民報（2022 年 3 月 20 日及び 21 日）

○ 福島大学

〔foR-F プロジェクト〕

- ・官学連携による「住民参加型行財政システム」の構築に向けた実証的研究—人材育成に向けた「公共政策プログラム」の開設を通して—
経済経営学類：藤原 遥(代表)、村上早紀子
行政政策学類：岸見太一、法政大学：林 嶺那
- ・ゲノム科学・技術を援用した栽培・発酵好適性イネ系統の開発基盤研究
食農学類：松田 幹(代表)、松岡 信、小山良太、藤井 力、高橋秀和、吉田英樹、菅波真央、北野英己、吉田晋也
- ・福島型 STEAM 教育の開拓
人間発達文化学類：中田文憲(代表)、新井 浩、初澤敏生、渡邊晃一
- ・脱炭素型エネルギーシステムの構築：水素をつくる・つかう技術の多様化
共生システム理工学類：大山 大(代表)、浅田隆志

○ 田部先生

- ・いわき市と双葉郡8町村における「ロボット産業」の育成の現状と課題
—「ロボットベルト」地帯への道—
(地域振興戦略研究所・2021 年度研究)

- ・東京電力福島第1原子力発電所の現状研究
（政治経済情報誌『FACTA』2020年12月号掲載）
- ・東京電力福島第1原子力発電所の「処理水」問題の研究
（同上 2021年12月号掲載）
- ・東京電力の事故の教訓を忘れない研修施設の研究
（同上 2021年3月号 電子版）

○ 三浦先生

- ・ホスピタリティを形成する教育観光に関する研究 -福島県における「ホープツーリズム」を事例として- 東日本国際大学東洋思想研究所紀要第12号（2022年2月）

○ 中村専務

- ・コラム ハンフォードの歴史 福島復興知学講義 東京大学出版会（2021年4月）

2 福島県内若手研究者支援基金設立に関する検討

1 に記述した調査研究を推進するため、福島県内の高等教育機関に在籍する若手研究者に対する研究支援基金の設置を検討する。

- 公益財団法人日本財団の 2022 年度通常募集事業に、「福島浜通り地域の復興創生を支える福島県内若手研究者支援事業」(事業費総額 300 万円))を申請したが不採択。

3 ハンフォード地域の現地調査

- ・ワシントン州立大学トライシティーズ校、コロンビアバイスン短期大学との包括連携協力協定締結に向けた調整
- ・ハンフォード・トライデックとの包括連携協力協定締結に向けた調整
- ・福島浜通り地域の地方公共団体の首長等のハンフォード地域への派遣に関する連絡調整
- ・福島浜通り地域の学生、若手企業人等のハンフォード地域への派遣に関する連絡調整

- 新型コロナウイルスの影響のため、ハンフォード地域の現地調査は未実施。

4 福島浜通り地域の復興創生に関するビジョンの作成

- ・若い人を含む主な会員に、ビジョンの基本的な方針や考え方に関するアイデアを提案してもらう。2021年度は、それらを印刷物(本)に取りまとめ、その後、それら

のアイデアを基に、「福島浜通りトライデック」としてのビジョンを取りまとめていく。これをもとに「福島浜通りトライデック」の活動方針等について必要に応じ見直す。

- 「福島浜通りトライデック-その課題と展望-」(発行者: 一般社団法人 福島浜通りトライデック、制作: 論創社)を刊行するための作業を実施した。

5 福島浜通り地域の復興創生に関するセミナーの開催

- 「復興学連続セミナー」を、東日本国際大学の授業科目「復興学」の中で、一般にも Zoom を活用して公開し 2021 年 12 月に実施した。
 - 第 1 回 大和田 新 氏 (ラジオパーソナリティ)
「伝えることの大切さ、伝わることのすばらしさ」
 - 第 2 回 ケンタロ オノ 氏 (一般社団法人日本キリバス協会代表理事)
「私たちが望む未来-The Future We Want-」
 - 第 3 回 吉田 恵美子 氏 (NPO 法人ザ・ピープル理事長)
「福島復興の先を見据えて-市民活動の現場から-」

6 提言書等の取りまとめ

・国際教育研究拠点の活動内容等に関する要望書の取りまとめ

- 国(復興推進会議)の「福島国際研究教育機構基本構想」の取りまとめが、2022 年 3 月 29 日となったため、要望書の取りまとめは未実施。

7 復興創生に取り組んでいる関連組織との関係構築・連携強化

- いわき市が実施する「福島国際研究教育機構」との連携に向けた関係機関情報交換会へ参画した。

8 会員拡大、広報活動の強化

・浜通り南部のみならず、北部及び中部地域への展開
・会員数の拡大

- 団体正会員 (12 団体(発足時) → 17 団体(2022 年 6 月末))
- 団体賛助会員 (3 団体(発足時) → 3 団体(2022 年 6 月末))
- 個人正会員 (18 人(発足時) → 18 人 (2022 年 6 月末))